

2月7日（水） 朝礼のお話

## 「雪」という字の成り立ちについて

おとといから昨日にかけて雪が降りましたね。東京地方で雪が降るのは真冬ではなく、少し春の気配がしてくる2月から3月が多いそうです。今から何年か前に東京で30センチ以上もの雪が積もる大雪になったことがありましたが、それも2月の半ばでした。

さて、今日はこの「雪」という漢字の成り立ちについてお話ししたいと思います。この雪という漢字は2年生で学習するのでみんなによく知られた文字ですね。では空から降ってくる雪にどうしてこの漢字が使われるのでしょうか？

まず漢字の上の部分、これは「雨」、あめかんむりですね。つまりこの文字が雨や水に関係ある文字であることを示しています。雨かんむりの字には雲、霜、霰、霧などたくさんありますがどれも雨や水に関係がある言葉です。

よくわからないのは下の部分にある「ヨ」ですね。カタカナのヨと同じ形です。この部分にはどんな意味があるのでしょうか。

実はこのヨと言う文字正しくは「彗」と書きます。だから本来、雪という字は

雨

彗

と書きます。

ではこの下の部分「彗」という字が「ヨ」と簡単に書くようになったわけです。この「彗」読める人もいるかもしれませんが、これは、彗星という言葉に使われる文字で音読みでは「スイ」訓読みでは「ほうき」です。つまりこの彗は掃除に使う「ほうき」を表しているわけです。

そしていよいよ雪という字の意味です。これにはいくつかの説があるそうです。まずは「雪は雨と違ってほうきではらいのけられる物」というものです。たしかに雨と違って少しの雪ならばほうきで払いのけることもできますね。

もう一つ、校長先生はこっちの方がよりふさわしいと思う意味があります。それはこんな意味です。雪が降ると辺り一面に白くなって、とてもきれいな景色になりますね。これを「雪とは天の神様が地上の汚れをほうきできれいに掃き清めるために降らせてくれたものだ」と言う考え方です。これ、なかなかすてきな意味ですね。たしかに雪が降って地上のすべてのものが真っ白できれいな雪で覆われた様子はとても気持ちが良い、なんだかすがすがしい気持ちになります。「神様が世界をお掃除してくれた」というのもわかるような気がします。

今日は雪という漢字の意味についてお話をしました。今日も最後まで一生懸命聴いてくれてありがとうお話を終わります。